九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[05_04]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/1468006

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (4), 1972-09-05. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

第23回全国共同利用大型計算機センター運用会議議事要旨

日　時：昭和47年6月23日（金）　10：00～14：20

場　所：京都大学楽友会館

議　事

I　報告事項

各センターの現況および利用状況について、それぞれ報告があった。

II　審議事項

1．センターの機構について（継続）

前々回のセンター長会議の議に基づき、運用会議でも種々検討してきたが、各センターの事情もあるので、この問題は一応打ち切りとして、各センターでよく検討したうえで、再討議することになった。

2．センター間の協議について（継続）

センター間連絡・協議に関する小委員会から提出された諸会議および研究会の位置付け、担当事項などを整理したものに基づいて検討したが、なお、問題点もあるので、各センターで検討し、当該委員と連絡・協議のうえ、継続審議することになった。

3．沖縄地区各大学の利用について（継続）

九州大学から、5月15日沖縄全面復帰に伴ない、沖縄地区の利用者の取り扱いについて、前回の運用会議で討議され、九州大学からは、琉球大学に対し、大型計算機センターのあり方を認識してもらうよう努め、かつ、情報を提供して、第7地区協に所属して利用するよう積極的に呼びかけているが、まだ返答を受けていないとの説明があり、検討の結果、旅費などの点について問題はあるが、取り敢えず第7地区協に所属することにして、九州大学大型計算機センターにお世話願うことになった。

4．そ　の　他

(1)　センター間のプログラム開発に関する調整について

プログラム・ライブラリー研究会から、各センターで開発しているプログラムの情報交換は研究会で行なっているが、特に、利用者個人が開発しているプログラムの情報交換がなされていないので、各センターは協力する必要があるが、この種の開発は将来増加すると考えられる。

従って、①センター間での開発の調整②センター間にまたがるライブラリー開発のための事務局を、適当なセンターに、その開発課題に応じて置くことが必要になると考えられるので、検討願いたい旨の提案があり、検討の結果、プログラム・ライブラリー研究会の幹事校である名古屋大学センターで、現状を整理して、次回も継続審議することになった。